



# ほけんだより

平成 26 年 7 月  
こでまり保育園  
～第 4 号～

プール遊びや水遊びが始まりました。気持ちも開放的になり、プールからは毎日、子どもたちの楽しそうな声が響いてきます。水に触れることで皮膚が丈夫になり、心肺機能も高められるプール遊び、楽しみながら強い体を作り、暑い夏を乗り切りたいですね。

## 子どもが病気になったとき

お子さんが急な病気になると、受診したり、園をお休みしなければならなくなったりと大変ですね。でも、「このくらいの症状なら・・・」と無理をさせてしまうと、悪化したり、長引いたりして、さらに大変になることもあります。子どもの状態をよく見て判断していくことが大切です。

**\*子どもが病気になったら・・・**

① かかりつけ医を受診しましょう。

② お子さんの様子、症状をよく見て登園を判断しましょう。

\*体調が悪い子どもにとって、集団生活は負担になります。

\*周囲の他の子どもたちへ感染症を広げてしまうこともあります。

\*最初に無理をさせてこじらせてしまうと、回復が遅れたり、悪化してしまうこともあります。

③ できるだけ、ゆっくりと過ごせる環境で、静養できるようにしましょう。

④ 登園開始は、かかりつけ医に尋ねたり、お子さんの顔色や食欲、体調を配慮して行いましょう。

## 病児保育とは

子どもが病気やけがなどで、保育園等に預けることができない期間、保護者がやむを得ない事由のため家庭で育児ができない状況にある場合において、一時的に子どもを施設で預かり、保護者に代わり保育・看護を行います。

病気の子どものが安心して過ごせる環境を整えるために保育士・看護師が配置され、医療機関との連携や他の子どもへの感染に配慮された施設となっています。

### 久留米市の病児保育室

久留米大学旭町キャンパス内「すくすくランド」  
久留米大学医療センター内「エンゼルキッズ」  
聖マリア病院内「マリアン・キッズ・ハウス」

## プールで感染しやすい病気

### 咽頭結膜熱（プール熱）

プールを介した感染率が高いことから「プール熱」と呼ばれています。高熱、喉の腫れ（首のリンパ節炎）、結膜炎などを伴い、かぜに似た症状が出ます。

### 流行性角結膜炎（流行り目）

接触感染が主で、充血、目やに、ごろごろした異物感の他、発熱を伴うことがあります。プールの水で濡れたタオルや水着などが感染媒体になります。

どちらの病気も出席停止となります。

登園は医師の診断にもとづいて行いましょう。

